

令和5年度 園芸科「農業選択1 果樹」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸科 2年 A組
教科書	果樹（実教出版）	副教材等	日本農業技術検定《3級》テキスト （全国農業高等学校長協会）

1 学習の到達目標

<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、果実の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 果実の生産と経営について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 果実の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 果実の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6 7	果樹の種類と果樹栽培の動向	1 果樹の種類と果実の利用 ①果樹の種類と分類 ②果実の構造 ③果実の食品価値とその利用 圃場実習 中間考査 ④果実をとりまくフードシステム 2 果樹栽培の動向 ①果実の生産と消費の現状 ②果実の輸出と輸入 ③果樹栽培の将来 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 栽培されている果樹の種類とそれらの分類について学ぶ。 花と果実の構造上の関係を学ぶ。 種類による食用部分の構造を知る。 教科書にある果実の構造をスケッチする。 果実の利用と食品価値の重要性を理解する。 摘らい・摘花・摘果の管理作業を行い、果樹に関する知識を身に付ける。 果実の流通について学ぶ。 フードシステムを川の流れにたとえて学ぶ。 果実の生産量と消費量の動向を学ぶ。 世界の生産動向を学ぶ。 日本の生産動向を学ぶ。 果実の輸出入の現状を知り、将来の果樹栽培について考える。 都道府県別の果樹生産量を学ぶ。 果樹の栽培地に適した種類や品種を学ぶ。 GAPの基礎的な内容について学ぶ。 実物を見て名称や用途を理解する。 	行動観察 圃場実習評価 ノート 定期考査 行動観察 圃場実習評価 ノート 定期考査
9 10 11 12	果樹の生育と栽培環境	1 果樹の生育と生理 ①果樹の生育とその一生 ②根・枝・葉の成長 ③葉芽や花芽の文化と発達。 ④開花と結実 ⑤果実の成熟 圃場実習 中間考査 2 果樹栽培と環境 ①生育と環境要因 ②生育と栄養 学園祭発表 ③生育と土壌 圃場実習 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 果樹の一生について、そのあらしを学ぶ。 C/N率について学ぶ。 根・枝・葉の成長と花芽分化の関係を学ぶ。 花芽分化について学ぶ。 花芽が分化する要因を学ぶ。 開花と結実、果実の成長について学ぶ。 開花と受粉、受精と結実について学ぶ。 結果習性について学ぶ。 追熟について学ぶ。 ナシの収穫 糖度測定 果樹の生育と気象・土壌・栄養・水分の関係を学ぶ。 果樹の生産安定と高品質果実生産にかかわる栽培技術と環境要因について学ぶ。 果樹に必要な養分や肥料について学ぶ。 果樹の生産に適切な土壌管理を学ぶ。 実物を見て名称や用途を理解する。 収穫後の管理 礼肥、落葉処理 	行動観察 圃場実習評価 ノート 定期考査 行動観察 圃場実習評価 ノート 定期考査

1 2 3	果樹の栽培管理	1 苗木の育成 ①よい苗の条件 ②接ぎ木苗の育成 ③挿し木苗の育成 圃場実習 2 開園と更新 ①園地の立地条件 ②開園の実際 圃場実習 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・苗木生産（繁殖）の特徴を理解し、その方法を学ぶ。 ・よい苗の形状を学ぶ。 ・代表的な接ぎ木の方法を学ぶ。 ・挿し木苗の準備（保存）の方法を学ぶ。 ・せん定の基礎を学ぶ。 樹形、各枝の名称を知る。 せん定の手順を知る。 ・果樹園の開設に必要な自然的立地条件、経済的立地条件を学ぶ。 ・苗木の植え付け方を学ぶ。 ・実際のせん定を学ぶ。 徒長枝、予備枝の区別、のこぎり、せん定鋏の使い方を学ぶ。 	行動観察 圃場実習評価 ノート 定期考査
-------------	---------	--	--	-------------------------------

3 評価の観点

知識・技能	果実の生産と経営に関するプロジェクト学習を通して、果樹の生理・生態や生育環境などの果実生産に必要な知識と技術、果実生産の計画、管理、評価などの果樹経営に関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付けている。
思考・判断・表現	果実の生産や経営に関して、生産技術や生産工程、経費や流通・販売方法などの生産や経営に関する課題を発見し、地域の果樹経営の実践事例や果実生産が果たす社会的な意義と役割などを踏まえるとともに、環境への配慮や法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力が養われている。
主体的に学習に取り組む態度	果実の生産と経営の学習を通して、果実生産が人々の暮らしを豊かにする素材を提供し、生活環境を創造するという社会的な役割を担っていることを理解し、品質と生産性の向上を図るとともに、安全で安心できる果実の生産と経営を目指し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度が養われている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・出席を常にご確認ください。 ・教室展開と実習展開の科目です。教具や実習服を準備してください。 ・主体的に行動し、協働で取り組んでください。 ・実習では安全に配慮して、授業に参加してください。
